

令和6年度 第2回 建設工事等における入札・契約制度の改正説明会

—— 建設工事 ——

- (1) 地域ブロック限定型の適用拡大と入札参加数の緩和について
- (2) 施工体制事前提出方式(オープンブック方式)における元請下請体制の事前確認の再開について
- (3) 総合評価落札方式における簡易型(施工計画型)の適用拡大について
- (4) 総合評価落札方式における施工計画等の改善について

地域ブロック限定型の適用拡大 と入札参加者数の緩和

■地域ブロック限定型の適用拡大と入札参加者数の緩和

地域(複数)ブロック限定型

「地域で調達できるものは、地域に発注する」
(県調達方針)

＜ブロック限定型の概要（H18.2～）＞

- ・県内を5ブロックに分割し、地域に発注することで地元企業の受注機会の拡大と地域雇用を確保

＜現行ルール＞

- ・1億円未満の工事
- ・ブロック内に入札条件を満たす企業が30者以上

ブロック内の県内企業のみに限定した入札

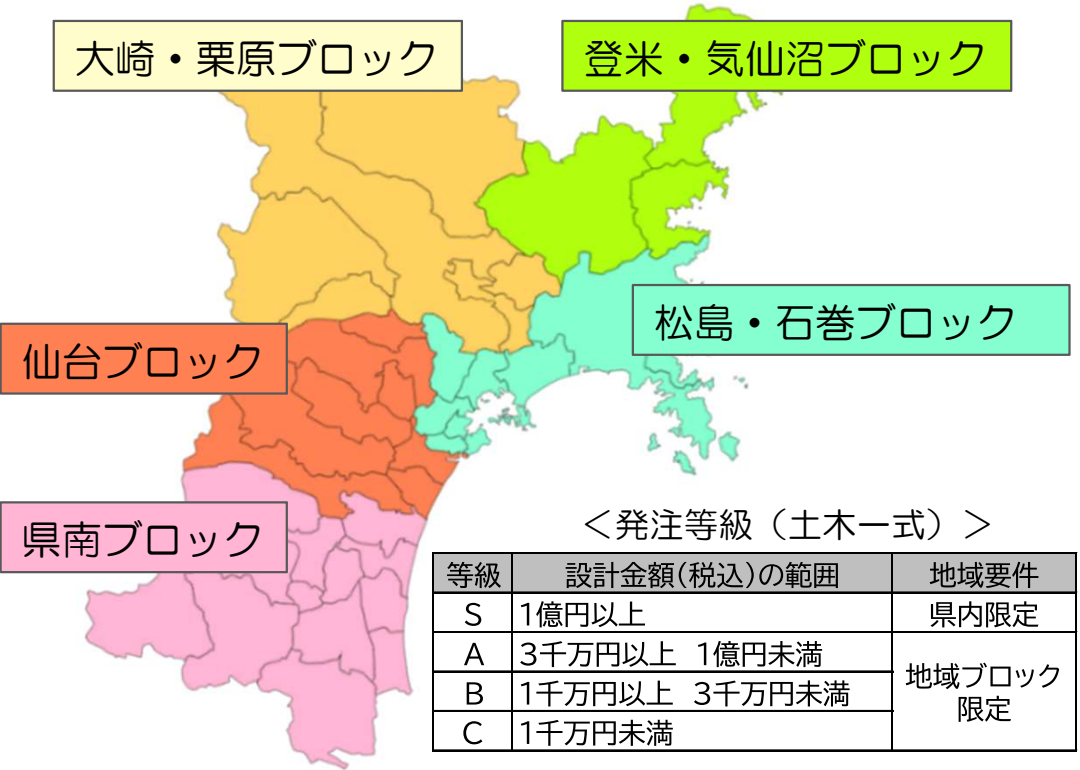
現状・課題（地元企業の受注状況）

土木一式S等級（WTO除く）地元受注率

工事件数	県全域	発注地域ブロック				
		県南	仙台	大崎 栗原	松島 石巻	登米 気仙沼
震災前平均(H20～22)	78.2%	79.5%	64.3%	83.6%	80.0%	65.9%
直近平均(R3～5)	74.6%	48.0%	77.1%	88.2%	77.2%	82.0%

 : 震災前より低下 : 最低値

＜地域ブロック＞



S等級工事（＝ブロック限定外）は県内全域を対象とした発注となり、他ブロック企業も受注可能

ブロック外企業の参入により一部地域において、震災前と比べ、**地元企業の受注率が低下**

地元企業の受注機会の拡大を図る必要がある
(地元企業の受注率を**震災前の水準まで回復**させる) 2

■地域ブロック限定型の適用拡大と入札参加者数の緩和

入札参加対象業者数の設定根拠(現行)

- 「都道府県の公共調達改革に関する指針（H18.12月_全国知事会）」では、地域産業の育成と公正な競争の確保を図る観点から、「**応札可能者数は20～30者以上を原則**」としており、「条件付一般競争入札等参加資格条件設定基準」により**宮城県では30者に設定**。

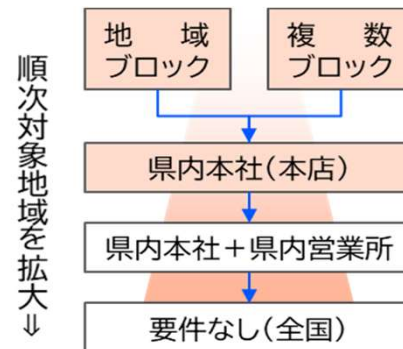
地域ブロック限定適用にあたっての現状・課題

- 地域ブロック限定型の適用にあたっては、ブロック内に入札参加登録者が30者以上いることが必要
- 30者に満たない場合は、隣接地域を含む「地域複数ブロック限定」、「県内全域」と拡大することで入札参加登録者を確保

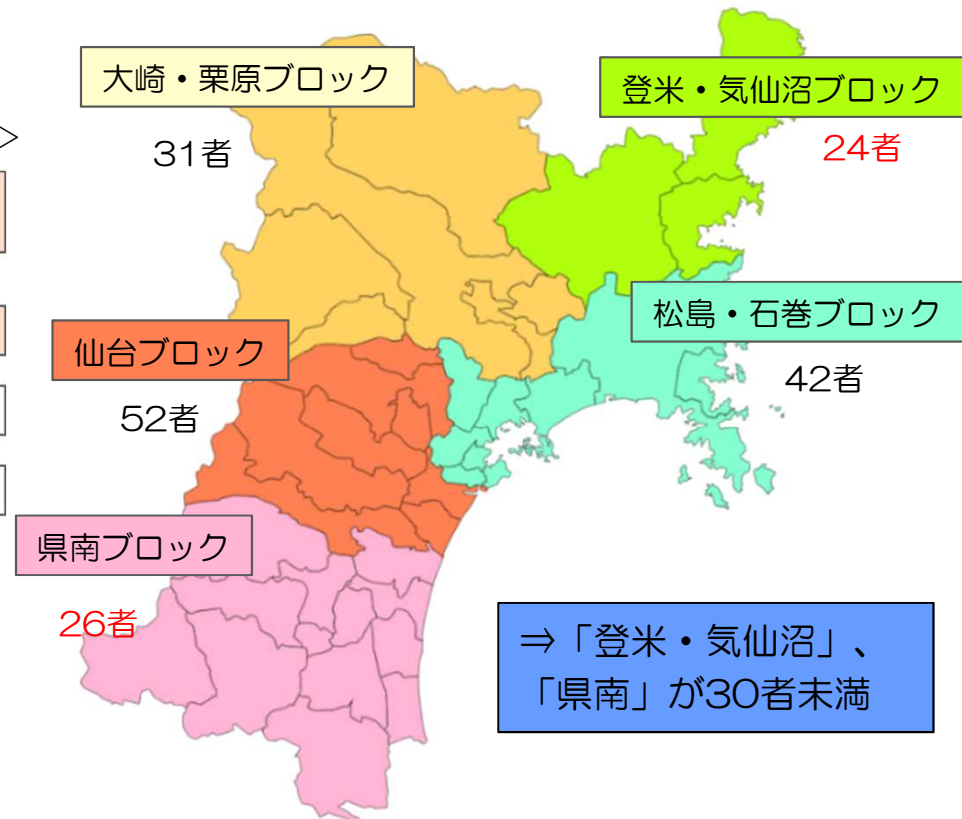
地域ブロック限定型の金額上限の拡大(1億⇒1.5億)に伴い、S等級工事の一部が地域ブロック限定型の対象となるが、**S等級企業数が30者未満の地域がある**

入札参加対象業者数の見直しが必要

＜地域ブロック限定のフロー＞



＜各ブロックの土木一式_S等級企業数(R6現在)＞



■地域ブロック限定型の適用拡大と入札参加者数の緩和

地域ブロック限定型の改定内容

< 現 行 >

- 1億円未満の工事
- ブロック内に入札条件を満たす企業が30者以上

< 改 定 >

- 1億5千万円未満の工事
- ブロック内に入札条件を満たす企業が20者以上

<参考> 入札参加条件を20者とした場合に地域限定ブロック・地域複数ブロックが可能となる業種・等級

◆地域ブロック限定が可能なもの

業 種	等 級
① 土木一式工事	S、S又はA、A、B、C等級
② 建築一式工事	B、C等級
③ とび・土工・コンクリート工事	A、B等級
④ 管工事	A等級
⑤ 鋼構造物工事	B等級
⑥ 舗装工事	B等級
⑦ 水道施設工事	B、C等級
⑧ PC工事	A等級
⑨ 法面工事	A等級
⑩ 解体工事	B等級

※朱書き: 新たに追加となる等級

◆地域複数ブロック限定が可能なもの

業 種	等 級
① 大工工事	A等級
② 石工事	B等級
③ 電気工事	A等級
④ 管工事	B等級
⑤ 舗装工事	S等級(自社施工の条件がない場合) A等級
⑥ しゅんせつ工事	B等級
⑦ 塗装工事	A等級
⑧ 造園工事	A等級
⑨ 解体工事	A等級

※朱書き: 新たに追加となる等級

(R6登録情報を基に算出)

※ 入札参加対象業者数が20者に満たない場合、複数ブロック、県内本店と地域要件を拡大し、競争性は確保する

施工体制事前提出方式（オープンブック方式）に
おける元請下請体制の事前確認の再開

■施工体制事前提出方式(オープンブック方式)における元請下請体制の事前確認の再開

＜これまでの経緯等（震災前）＞

- 県では、工事目的物の品質及び適正な労働条件の確保を目的に、入札参加者に詳細な工事費内訳や予定下請負人との下請契約内容・契約金額を提示を求める施工体制事前提出方式（オープンブック方式※1）を適用。
- 公共工事の規模縮小の中、低入札傾向が一向に収まらず、下請けいじめや労働者の低賃金化への対策として、平成19年11月より新たな失格判断基準（4）※2を適用。

＜特例措置（震災後）＞

- 東日本大震災後、膨大な復興事業に対応するため、入札・契約制度において様々な特例措置を講じてきた。
- その一つとして、入札時における入札者の負担軽減及び施工体制確保を目的に、下請けに関する工事内訳書の提出を不要とする運用を平成25年10月より実施。
- 併せて、下請けに関する失格判断基準（4）※2の除外措置を実施。
- 震災の復旧・復興事業が、おおむね完了し、事業量が大きく減少。
→震災特例の廃止・制度化など情勢に合わせ措置を講じてきた。

工事費内訳書▶

工事費内訳書		元請の記載部分		下請の記載部分	
1	工事名	サンプル工事	許可番号	04680000	
2	工事番号	平成16年度 サンプル号	企業ランク	S	
3	工種	11トンネル工事			
4	市町村	0468 雄勝町			
5	単価採用年月	2005年4月			
6	会社名・番号		直接元請負人1	下請負人2	下請負人3
7	建設業許可番号を入力 許可番号が無い場合は電話番号を入力				
8	配置技術者数 （職の年収(円)		直接元請負人1	下請負人2	下請負人3
9	所管工期(日)				
10	工事区分・工種・種別・細別				
11	規格名称				
12	単位				
13	数量				
14	金額				
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21	道路新設・改築				
22	トンネル(NATM)				
23	トンネル掘削工				
24	掘削工				
25	トンネル掘削				

※1：オープンブック方式とは、下請の労働条件の確保を目的として、入札時に元請・下請の工事費内訳書の提出を求めているもの。

※2：失格判断基準（4）とは
直接工事費における想定下請入札率÷入札率<1.0

■施工体制事前提出方式(オープンブック方式)における元請下請体制の事前確認の再開

＜オープンブック方式の震災特例の見直しに係る背景＞

- **下請未承認の発生**やこれに伴う**指名停止案件**が散見。下請承認時まで下請けを含めた施工体制が受発注者間で共有されない。
- R6.4月より、下記の要請に基づき、予定価格における法定福利費※1 概算額を明示。併せて受注者から提出される法定福利費を確認。
- R6.6月よる品確法・建業法・入契法の改正に伴い、「地域の守り手」である建設業がその役割を果たしていけるよう、下請負人を含めた**労働者の処遇改善**のさらなる推進が必要。
- 改正建設業法第20条では、受注者に対して労務費等の内訳を記載した見積書の作成が努力義務化。

要請通知：令和3年12月1日付 請負代金内訳書における法定福利費の明示による法定福利費の適切な支払いのための取組について（総務省・国交省連名より各自治体に要請）

要請の趣旨である「元請・下請・技能労働者の労働条件の確保」や改正品確法などを踏まえ、現在、特例措置としているオープンブックの下請けに関する措置について、**再開の検討**が必要。

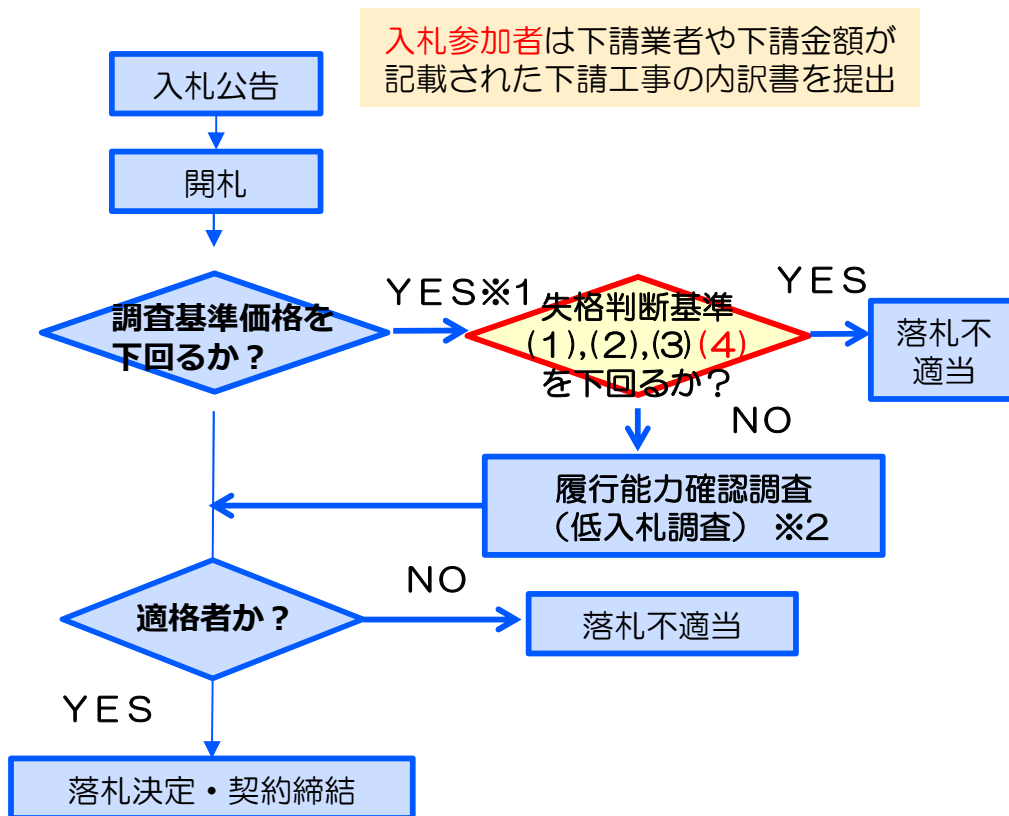
＜改定内容＞

- ①：落札候補者は**下請業者や下請工事金額などが記載された下請工事内訳書**を速やかに提出。
- ②：落札者候補者が調査基準価格を下回る場合、発注者は**失格判断基準(4)による確認**を実施。
調査基準価格を上回る場合は、落札決定。
- ③：当該落札候補者が失格判断基準(4)を下回った場合、次点の候補者を審査（①～③を実施）失格判断基準(4)を上回った場合は落札決定。

※1：法定福利費とは、法律で企業側が負担を義務付けられている社会保険料や雇用保険料などの費用

■施工体制事前提出方式(オープンブック方式)における元請下請体制の事前確認の再開

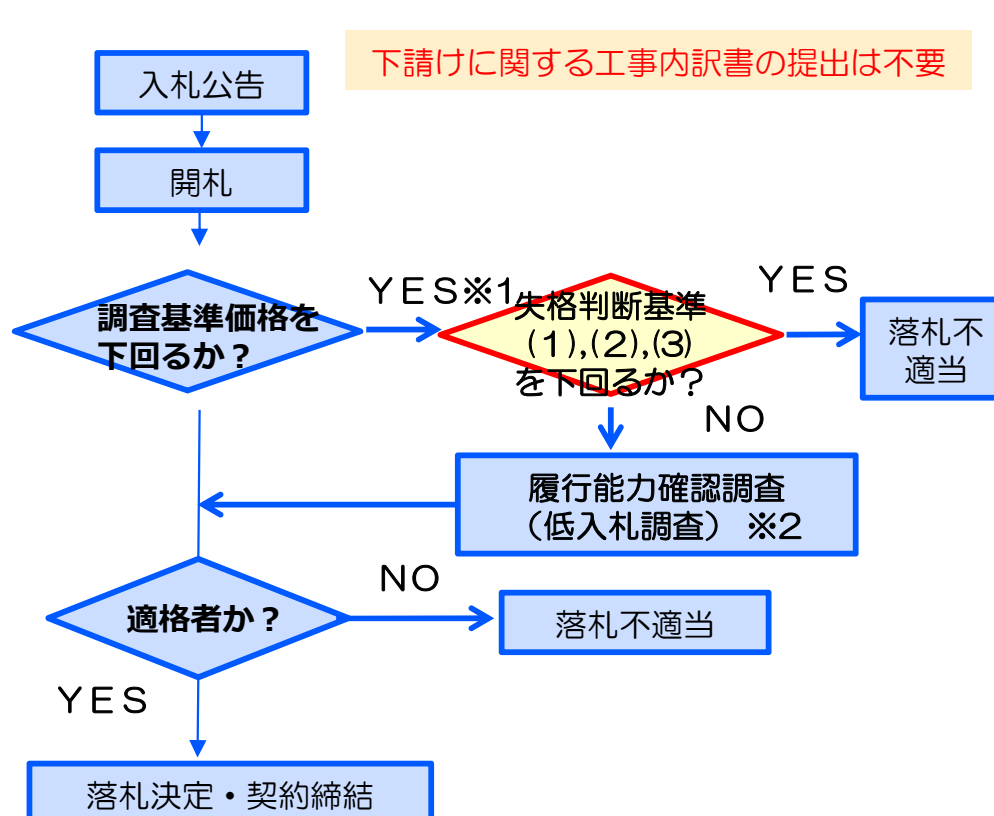
震災前



<失格判断基準>

- (1) 全入札者の純工事費相当額の平均額×0.97
- (2) 設計額における現場管理費相当額×0.85
- (3) 設計額における一般管理費相当額×0.63
- (4) 直接工事費における想定下請入札率÷入札率<1.0

特例(現状)

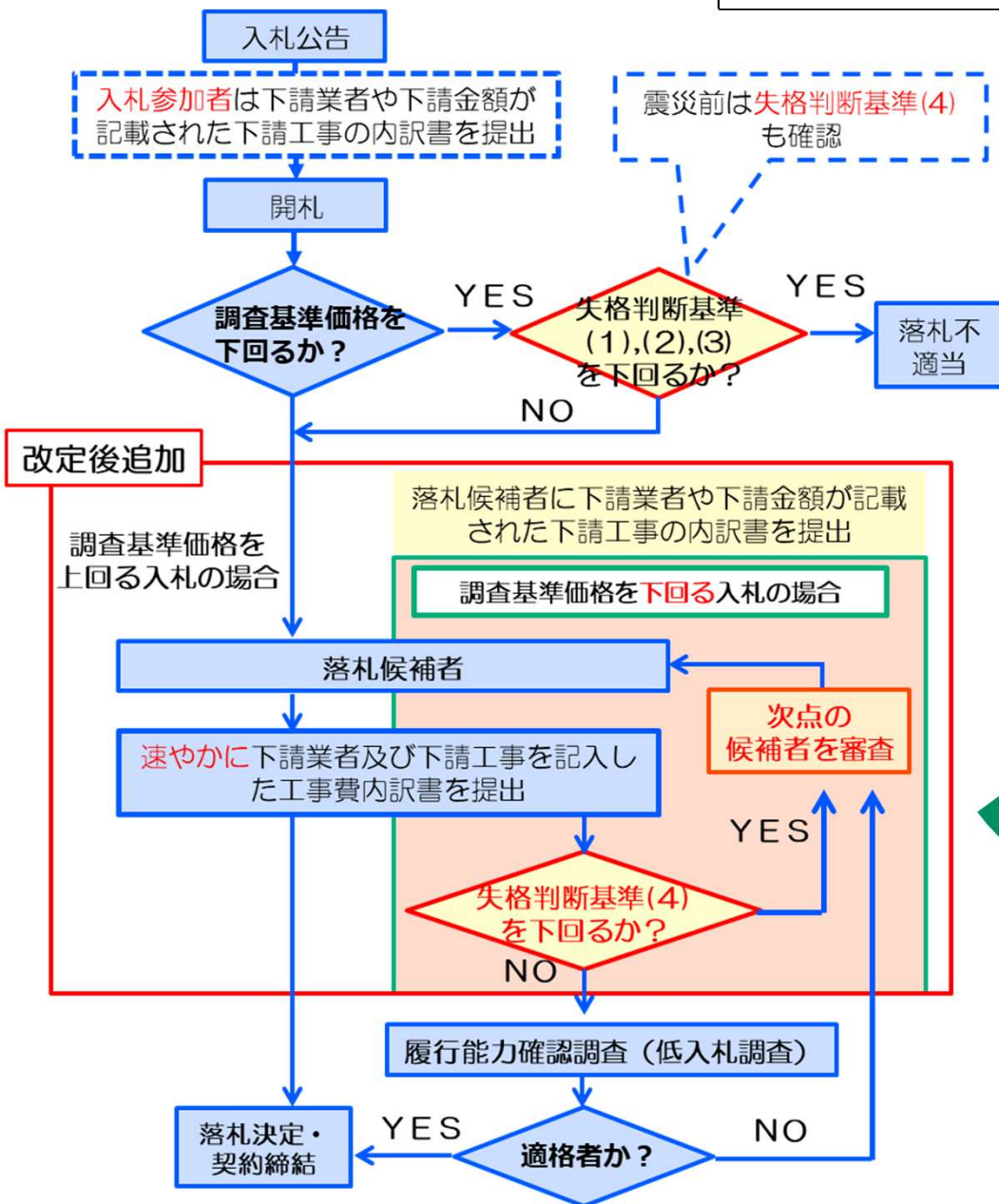


※1：調査基準価格を下回った場合のみ、数値的判断基準を適用

※2：調査基準価格を下回った場合のみ、履行能力確認調査を適用

■施工体制事前提出方式(オープンブック方式)における元請下請体制の事前確認の再開

改 定



▽工事費内訳書

工事費内訳書		許可番号	04第0000				
工事名	サンプル工事	企業ランク	S				
工事番号	平成16年度 サンプル号	会社名・番号					
工種	11トンネル工事	建設業許可番号を入力					
市町村	0468 雄勝町	許可番号が無い場合は電話番号を入力					
単価採用年月	2005年4月	直接元請負人1	下請負人2 下請負人3 下請負人4				
		下請負人の主任技術者相当職の年次					
		現場代理人相当職 主任技術者相当職	下請負人2 下請負人3 下請負人4				
		所要工期(日間)	直接元請負人1 下請負人2 下請負人3 下請負人4				
工事区分・工種・種別・細別	規格名称	単位	数量	金額			
道路新設・改築		式	0	0			
トンネルATM		式	1	0			
トンネル掘削工		式	1	0			
掘削工		式	1	0			
トンネル掘削		式	1	0			

下請業者や下請工事金額を記載

落札候補者は速やかに工事費内訳書の赤枠部を記載して提出

総合評価落札方式における 簡易型(施工計画型)の適用拡大

■総合評価落札方式における簡易型（施工計画型）の適用拡大

改定内容

- 工事内容によっては、技術的な工夫の余地が小さい工事においても、標準型（施工計画型）を適用している現状を踏まえ、**発注者が当該工事に適した型式を選定**できるよう、簡易型（施工計画型）の適用範囲を拡大する。
→ **適用可能範囲を新たに設け、その上限を3億に拡大。**
- 適用範囲拡大により、施工計画等（作文）が2テーマから1テーマとなり**受発注者の負担軽減**にも寄与。

<総合評価落札方式の適用区分>

設計額(円) (税込み)	簡易型(実績重視型)	簡易型(施工計画型)	標準型(施工計画型)	標準型(技術提案型)	高度型	技術提案チャレンジ型
5億			適用可能	適用可能	概ねの下限額	
3億			概ねの上限額	概ねの上限額		
1億		適用可能(今回)	概ねの上限額	下下限額	適用可能	上限額
5千万	適用可能	概ねの上限額	概ねの下下限額	適用可能		下下限額
1千万	概ねの上限額	適用可能				適用可能
250万	下下限額					

標準型（施工計画型）を目安に設定

適用可能
(今回)

<適用範囲の考え方>

上限値（黄色部分）は変更せず、適用可能範囲を標準型（施工計画型）の概ねの上限に設定

想定される工事例

技術的な工夫の余地が小さい工事や難易度が高くない工事で、延長・面積が大きい工事や類似内容の工事で複数工区を合併する工事

- ✓ 河道掘削工事
- ✓ 堆積土砂撤去工事
- ✓ 舗装補修 など

総合評価落札方式における施工計画等の改善

■総合評価落札方式における施工計画等の改善

■様式の改定(イメージ)

○令和7年度は文字数制限のみ、全ての型式に導入する。(文字数MAX1,500文字)

(様式一様2)

施工上の課題に対する技術的所見

工事名: [REDACTED]
会社名: [REDACTED]

■課題 道路盛土の品質管理に関する技術的所見

具体的な内容

1,150字

Σ = 約5,600字
A3サイズ

1,080字

1,020字

1,020字

780字

評価の視点					視点	点数
1	2	3	4	5		
品質管理の計画	資材性状を考慮しているか	現場条件を考慮しているか	管理・確認方法が適切か	工夫が見られるか	1	
優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	2	
良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	3	
可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	4	
					5	



(様式一様2)

施工上の課題に対する技術的所見

工事名:
会社名:

■課題

具体的な内容

300字

300字

Σ = 1,500字
A4サイズ

300字

300字

300字

評価の視点					視点	点数
1	2	3	4	5		
課題を理解しているか	現場条件を考慮しているか	配膳方法が適切か	確認方法が適切か	工夫が見られるか	1	
優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	優 ○(2点)	2	
良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	良 ○(1点)	3	
可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	可 ○(0点)	4	
不適切 ○(-1点)	不適切 ○(-1点)	不適切 ○(-1点)	不適切 ○(-1点)	不適切 ○(-1点)	5	
					結果	

※1) 具体的な実施計画の記載を評価対象とする。

■施工計画等の改善に向けた試行実施

- 課題を解決するため、令和7年度に土木部内の一部工事で下記の改定イメージ基に試行し、様式の改定検討を行う。
- 試行様式（案）では文字数制限（MAX1500文字）を行うだけでなく評価の視点を5つから2つに集約すると共に評価方法の見直しを行う。

(様式一般)		改定イメージ	
共通評価		課題に対する技術的所見	
工事名：△△△△△△△△工事 会社名：□□□□□□株式会社			
特定評価	工事現場における施工時の一般交通や歩行者に対する安全管理について 2. アスファルトの品質管理について		
具体的な提案内容			
【視点1】本工事を施工するにあたり、上記の課題①と②に対して、あなたが特に注意が必要と考える現場条件等とその配慮点について、最大8点満点まで記載してください。 ※課題①、②それぞれ最低一つは配慮点を記載してください。片方の課題が記載していない場合は【視点1】の評価点を半分します。（小数点以下は四捨五入）			
1.			
2.			
3.			
4.			
5.	課題①について		
Σ = 1500字 A4サイズ		750字	
共通評価			
【視点2】上記【視点1】に記載した配慮事項を踏まえ、工事施工において具体的にどのような工夫をするかを各項目ごとに記載してください。 ※ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄			